

北陸企業、技術・製品で貢献



スカイツリーのメンテナンス用通路には塗装工業の技術が使われた

実績生かし 受注拡大へ

小売りは出店増狙う

スカイツリーや関連施設に北陸3県企業の技術や製品が使われた主な例

社名	技術や製品	使われている場所
フクビ化学工業	木粉と樹脂を固めて作った格子状の化粧板	地下鉄押上駅の駅名を囲む看板
セーレン	長尺の広告用垂れ幕	周辺施設5カ所
サイバーステーション	電子看板	「東京ソラマチ」に出店する「ニーズ SOLAN」
シーケー金属	高純度亜鉛メッキ加工	スカイツリーの鉄骨・配管の継ぎ手
塩浜工業	3次元CADを駆使した設計技術	スカイツリーのメンテナンス用通路
YKKAP	外装カーテンウォール	スカイツリーの第1、第2展望台

北陸企業が22日に開業した東京スカイツリー(東京・墨田)に関する実績をビジネス機会の拡大につなげようともぐるんでいる。

スカイツリーの建設工事に採用された独自技術を今後の受注拡大に生かそうとするほか、関連商業施設への出店を通じて全国的に知名度を高めることを狙う企業もある。

大林組の専門工事会社である塩浜工業(福井県敦賀市、塩浜都広社長)は、2008年11月からスカイツリーのメンテナンス用通路(キャットウォーク)の工事を担当した。高さ50mから495mまでの94層で本体鉄骨

スカイツリーは商機

今後はこのスカイツリーでの実績を商談でアピールしていく。同じように建物が大規模かつ複雑に建設されたときに売り込みをかけようと考えている。

C.Kサンエツ傘下のシーケー金属(富山県高岡

北陸最大のガス釜99.9%と高純度の亜鉛メッキ加工技術を得意としている。同社は本

骨は、下部が三角形で上部が円形。形状も寸法も高さで異なる。同社は本体鉄骨の設計図をもとに

3次元CADを駆使してキャットウォークが鉄骨の難易度が高い発電所建設などに売り込みをかけようと考えている。

C.Kサンエツ傘下のシーケー金属(富山県高岡

市、釣谷宏行社長)はス

カイツリー内の高さ15

0~250mの一部の鉄

骨でメッキ加工を担当し

た。同社の強みは本社工

場にある全長12.5mの

カイツリー内の高さ15

0~250mの一部の鉄

骨でメッキ加工を担当し

た。同社の強みは本社工

造・施工を担当したのは富山県滑川市に事業所を置くYKKAP。高さ450mの第2展望台の「天

蓋カーテンウォールの製造・施工を担当したのは富山県滑川市に事業所を置くYKKAP。高さ450mの第2展望台の「天

蓋カーテンウォールの製造・施工を担当したのは富山県滑川市に事業所を置くYKKAP。高さ450mの第2展望台の「天